

知っているようで知らない

都城市の上下水道の秘密

蛇口からきれいな水が出て、使った水をきれいに自然に帰す。そんな当たり前の生活を維持するために、上下水道局では日々努めています。今回は、私たちの生活に身近な上下水道の秘密について紹介します。

◎問い合わせ

水道課 ☎23-4270

下水道課 ☎23-5921

おいしい水道水をつくる

上下水道局では、質の良い水道水を皆さんに届けるために、ほとんどの水源を地下水に求めています。都城盆地を取り囲む山々に降り注いだ雨は、50年もの長い年月をかけて地下に浸透する過程で自然にろ過され、清らかな地下水になります。そのため、消毒も最小限で済み、適度なミネラル分を含んでいます。

上下水道施設の維持・更新

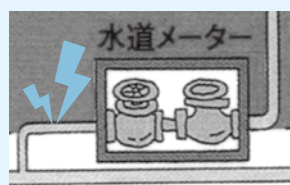
水道水を皆さんに届けるためには、さまざまな設備が必要です。昭和31年にスタートした本市の水道事業は、今日までおよそ70年の歳月が経過。浄水場や水道管の一部の施設が、老朽化により更新時期を迎えています。

「安全かつ強靱で、持続可能な水道」の実現のために、上下水道局では、人口減少を想定した効率的な水道施設の再編と経費削減に努め、地震などの災害に対応した施設の更新整備に取り組んでいます。

発見！教えて！漏水

上下水道局では、安全・安心な水を届けるために、水道管の維持管理を行っています。その一環として漏水調査を行っています。

この調査は、音聴棒という棒や漏水探知機を使い、道路などを歩きながら音を聞いて調査を行います。市内に敷設されている配水管などの総延長は、約1877kmにもなります。徐々に進行していく漏水は、規模が大きくなると、道路が陥没するなどの思わぬ事故につながります。また、修理は地域一帯を断水して作業が必要なこともあります。晴れているのに道路が濡れていたり、道路や歩道の亀裂から水が湧き出ているようなときには漏水が疑われます。漏水の早期発見のためには、皆さんからの情報提供



布類やティッシュ、除菌シート、ペーパータオル、油などは流さないで！

各家庭や工場の排水設備は下水道管とつながっていて、最後に下水処理場へ流れ着きます。

下水道管が詰まると、汚水が処理場へ流れなくなります。最悪の場合、台所やトイレなどが使えなくなる可能性があります。適切な排水設備の利用をお願いします。



下水道管が詰まった場合

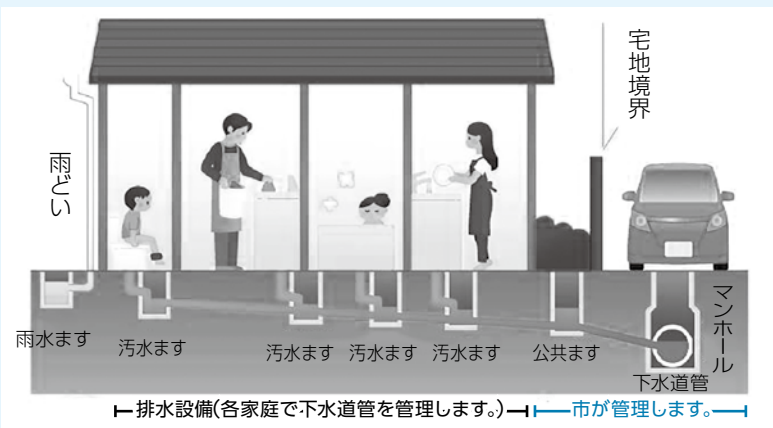
発生箇所によって、次のように対応が異なります。

・公共ますから敷地外の場合

復旧に伴う清掃作業は市で行います。ただし、詰まった原因が特定される場合は、原因者の負担となる場合もあります。

・敷地内(公共ますまで)の場合

排水設備は個人財産のため、所有者が管理ください。業者などに清掃を依頼する場合は、所有者の負担となります。



なぜなに？上下水道

Q 都城市の水道水は軟水・硬水どっち

A 都城市の水道水はほとんどの地域で硬度が低く軟水に属します

Q 1日に作る水道水の量は

A 平均して1日に約5万3千立方メートルの水を作っています

Q 水道水を作るにはどれくらいの時間がかかる

A 地下水から作る際は時間はかかりませんが、地下水は約50年前に降った雨です。これに加えると50年とも言えます

Q 一万城浄水場ができたのはいつ

A 昭和57年に完成しました

Q 都城市の下水道で1日に処理される下水の量は

A 市内6処理施設で、1日に約3万2千立方メートルの下水を処理しています

Q 家庭排水で一番水を汚す原因は

A 台所から出る油です。排水と一緒に流すと管に付着して詰まる原因にもなります

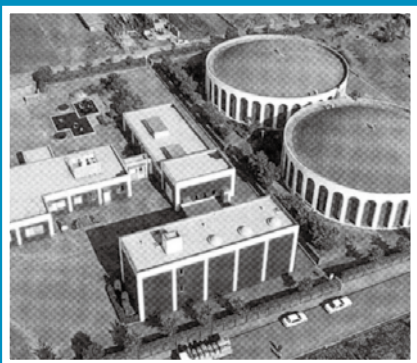


上下水道施設を見学しませんか

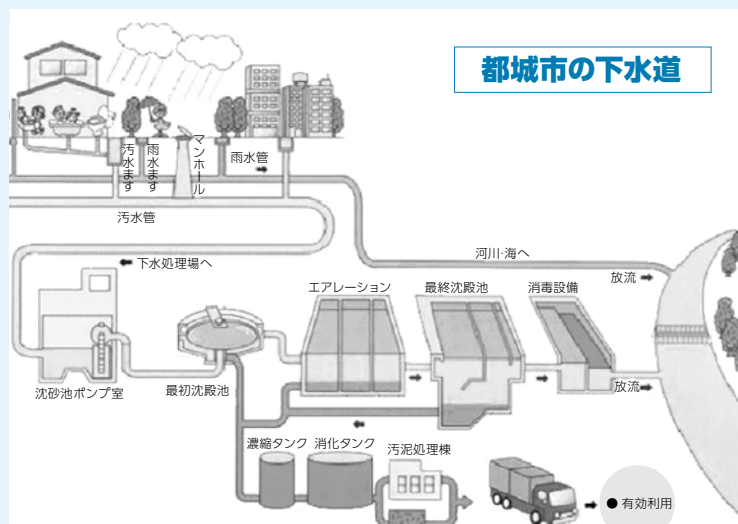
上下水道局では、施設見学を行っています。上下水道施設では、水道水がどのように皆さんの家庭まで届けられているかを見ることができ、下水道施設では、汚水が浄化されている工程を見ることができます。見学希望の人は、問い合わせください。



都城浄化センター（下水道施設）



一万城浄水場（上水道施設）



が重要となりますので、協力をお願いします。

下水道の役割

下水道や農業集落排水が整備されている区域では、家庭のトイレや台所、風呂場などから出る生活排水や工場排水などの汚水は、道路に敷設している下水道管に流れ、処理場へ流れていきます。処理場では汚水を浄化し、きれいな水にしてから河川などに放流しています。